

ダイワ・インド株ファンド（愛称：パワフル・インド）

第72期決算：足元の動向と今後の見通しについて

2026年6月9日

平素は、「ダイワ・インド株ファンド（愛称：パワフル・インド）」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドは2026年6月8日に第72期決算を迎えました。当期の運用状況と今後の見通しについてまとめましたので、報告申し上げます。

中東情勢の先行き不透明感などを背景に、インド株式および為替がともに軟調に推移しました。この影響を受けてインド・ルピーと保有するインド株式が下落し、基準価額も前期末比で下落となりました。前期末の基準価額は10,639円、当期末の基準価額につきましては10,101円となり、538円の下落となりました。

当期の収益分配につきましては、収益配分方針に基づいて基準価額の水準や動向を勘案し、0円（1万口当たり・税引前）といたしました。

引き続きお引き立て賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

（ご参考）当ファンドの収益配分方針は以下の通りです。

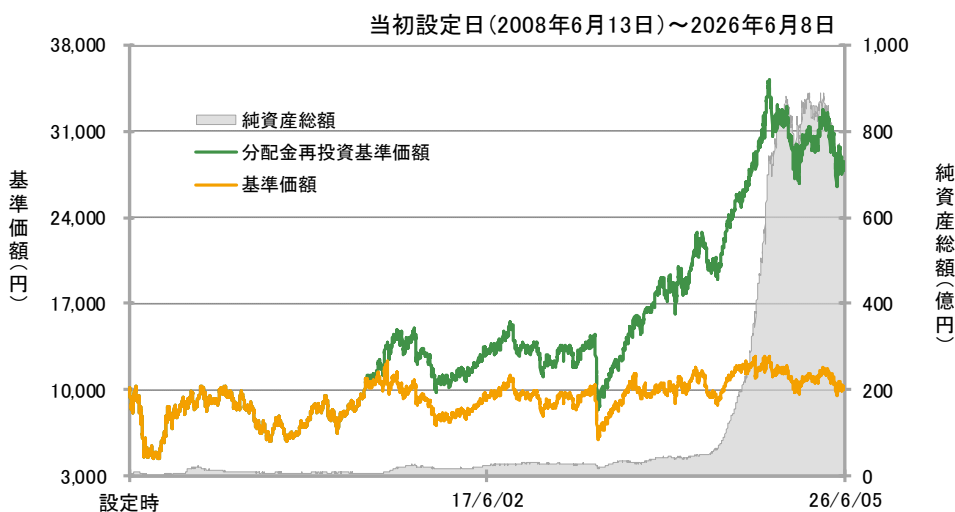
- ①分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とします。
- ②原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

■ 基準価額・純資産の推移（2026年6月8日時点）

基準価額	10,101円
純資産総額	710億円

《分配の推移》（1万口当たり、税引前）

決算期	（年/月/日）	分配金
第1～67期	合計：	11,320円
第68期	(25/6/9)	0円
第69期	(25/9/8)	0円
第70期	(25/12/8)	10円
第71期	(26/3/9)	0円
第72期	(26/6/8)	0円
分配金合計額	設定来：	11,330円
	直近5期：	10円



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
 ※分配金は、決算の都度、収益配分方針に基づいて委託会社（大和アセットマネジメント）が決定しますので、将来の分配金について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、分配金の変更あるいは分配金が支払われない場合もあります。
 ※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。
 ※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
 ※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

お伝えしたいポイント

- ・ インド株式・為替ともに、中東情勢の先行き不透明感などから軟調に推移
- ・ エネルギー資源は輸入に依存するものの、政府による影響の抑制策が進む
- ・ 短期は慎重も、中長期の成長性は不変。バリュエーション調整で投資妙味拡大

※当資料は、SBI Funds Management Limitedが提供するコメントを基に大和アセットマネジメントが作成したものです。

当期の投資環境と運用状況について

インド株式：中東情勢の先行き不透明感などから軟調に推移

インド株式市況は、下落しました。当期首から2026年3月末にかけては、米国とイスラエルによるイランへの攻撃を背景にリスク回避姿勢が強まる中、原油価格の急騰やインド・ルピー安の進行が嫌気されたことなどから、軟調に推移しました。4月中旬にかけては、米国とイランが2週間の停戦合意に達したことを好感したほか、恒久的な停戦合意への期待などから上昇しました。当期末にかけては、中東情勢の先行き不透明感や原油価格の動向などが意識される中、一進一退の展開となりました。

インド株式市場の推移

グラフ期間：2025年6月6日～2026年6月5日
当期：2026年3月6日～2026年6月5日



※インド株式はMSCIインド（INR建て、税引き後配当込み）を使用
※グラフの起点を100として指数化

（出所）Bloomberg

過去1年間のインド株式市場の主な材料（日付は現地時間）

69期 (2025/6/6-2025/9/5)	70期 (2025/9/5-2025/12/5)	71期 (2025/12/5-2026/3/6)	当期 (2026/3/6-2026/6/5)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 米国との通商交渉に対する警戒感などが重しとなり下落 ・ モディ首相が日本の消費税に類似するGST（物品・サービス税）の実質的な大幅減税を発表したことは相場の下支え材料 	<ul style="list-style-type: none"> ・ GST改正による消費拡大や、米国との通商交渉の進展に対する期待などを背景に堅調に推移 ・ インド中銀による利下げ余地の示唆や融資規制の緩和も支援材料 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 堅調な経済指標などを背景に一時最高値付近まで上昇も、中東情勢の緊迫化を受けた原油価格の上昇が嫌気されたことなどから下落 ・ 米国との通商交渉が合意に達したことは相場の下支え材料 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 米国とイスラエルによるイランへの攻撃を背景にリスク回避姿勢が強まる中、原油価格の急騰やインド・ルピー安の進行などが嫌気され、下落

インド・ルピー：対円で下落

インド・ルピーは対円で下落しました。

当期首より2026年4月末にかけて、中東情勢の緊迫化を受けたリスク回避の動きや原油価格の上昇などからインド・ルピーは対米ドルで大きく下落しました。加えて、日本政府・日銀による円買い介入を受けて円高が進行したことで対円でも下落しました。その後5月下旬にかけては、中東情勢の先行き不透明感などを受け、対米ドル・対円で下落しました。当期末にかけては、国営銀行を通じたインド中銀のドル売り介入により、対米ドルで反発したほか、円安・米ドル高が進行したことなどから、インド・ルピーは対円でも下落幅を縮小しました。

当期の運用状況

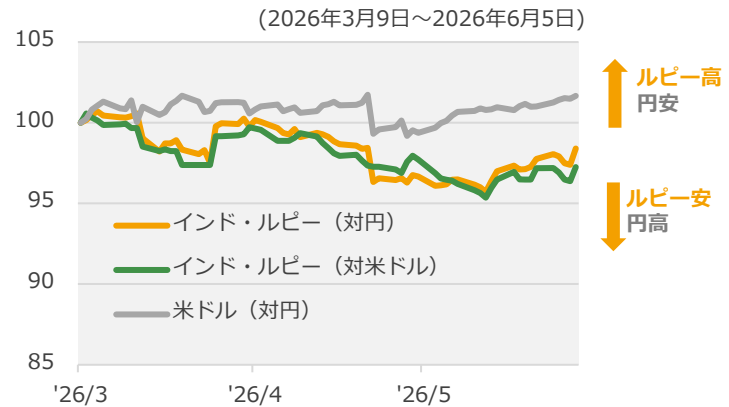
当期の基準価額（分配金再投資）は、インド・ルピーが対円で下落したことや、保有株式が下落したことを主因として前期末比で下落しました。

セクター別では、貸出残高や手数料収入の増加などによる中長期的な業績拡大が見込まれる銀行を中心に、金融セクターを組み入れ上位としました。また、中高所得者層の増加などを背景に中長期的な需要拡大が期待される自動車や二輪車関連を中心に、一般消費財・サービスセクターも高位に組み入れました。

保有銘柄では、中東情勢の緊迫化などを背景としたアルミ価格の上昇が好感された金属メーカーがプラス寄与しました。一方で、会長の辞任に端を発するガバナンスへの懸念などが嫌気された民間銀行がマイナス寄与しました。

期中には、株価の調整を好機と見てLCC（格安航空会社）を新規に組み入れました。一方で、相対的な投資魅力度の観点からアルミニウムや銅を中核とする金属メーカーや、医薬品メーカーを一部売却しました。

為替市場の推移



※グラフの起点を100として指数化 (出所) Bloomberg

エネルギー資源は輸入に依存するものの、政府による影響の抑制策が進む

■ インドはエネルギー資源の大部分を輸入に依存

2026年2月28日の米国・イスラエルによるイランへの軍事攻撃以降、原油・LNG（液化天然ガス）などの供給制約や価格の高騰が継続しています。インドは、原油などのエネルギー資源の大部分を中東地域に依存しており、供給不足や価格上昇への対応が課題となっています。

■ 政府の積極的なエネルギー資源確保策が進む

インド政府は、中東情勢の長期化に備え、エネルギー資源の確保と輸送リスクの低減を目的として、調達先・輸送ルートが多様化を進めています。

政府発表では、原油については調達先を約40カ

国へ拡大しているほか、代替調達先として、ロシア産原油の購入を一定期間認めるとの、米国からの特例許可が出されています。輸送経路の面では、原油の約5割を占めるホルムズ海峡経由の輸入への依存度を引き下げる取り組みを進めています。

■ 直ちに顕著に物価が上昇する可能性は低い

原油価格上昇による物価への影響については、インド財務省は、原油価格がおおむね90米ドル/バレル以下で推移する限り、燃料課税の引き下げや燃料・肥料に対する補助金の増額といった財政支援などから物価上昇圧力の吸収が可能との見方を示しました。そのため、金融政策についても、緩和的な姿勢が大きく見直される可能性は限定的とみています。

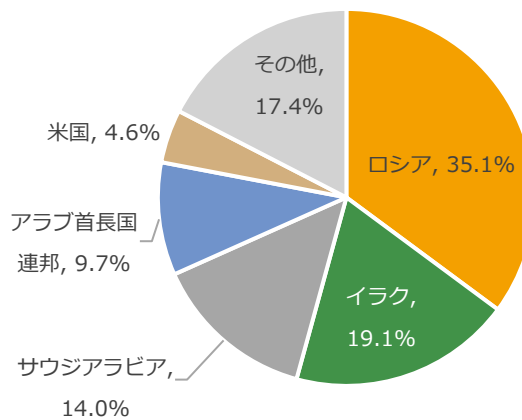
再生可能エネルギー産業の急速な発展などにより、原油の供給不足や価格上昇がインド経済に与える影響は過去と比べて徐々に低下しつつあります。上記を踏まえると、原油価格が一時的に高騰しても、長期的に高止まりしない限り、マクロ経済への影響はおおむね管理可能な範囲に留まるものとみています。

■ 原油価格の上昇に対応し、外貨流出抑制のための働きかけが進む

原油価格の上昇は輸入額の増加を通じて外貨流出圧力の高まりにつながる要因でもあり、政府はその抑制に向けた対応を進めています。モディ首相は、燃料消費や外貨支出の抑制を目的に、在宅勤務の活用や不要不急の海外旅行、金購入の自粛を国民に呼びかけました。インドでは金が個人の資産保有の手段として広く利用されていますが、その多くを輸入に依存しているため、金輸入の増加は貿易赤字の拡大や外貨流出の一因となります。2026年5月13日には、金および銀の輸入関税が従来の6%から15%へ引き上げられました。背景には、貿易赤字の拡大圧力を抑制し、外貨流出圧力の緩和を通じて、インド・ルピーの下支えにつなげる狙いがあるとみられます。

これらの施策は、短期的には需要や市場センチメントへの影響が意識される一方、通貨安圧力の緩和への寄与が期待されます。

■ インドの原油輸入先（2024年度）



※2024年度：2024年4月～2025年3月

（出所）インド商工省

短期は慎重も、中長期の成長性は不変。バリュエーション調整で投資妙味拡大

■ 足元の業績は概ね市場予想通り。短期見通しは慎重も、中期的には内需主導の成長を期待

2026年1-3月期の企業決算については、中東情勢の影響が懸念されたものの、概ね控えめな市場予想に沿う結果となりました。現時点では大きな悪化はみられず、企業のファンダメンタルズは概ね安定しています。一方で、中東情勢を受けた原油価格上昇に伴うコスト増加などの影響から、資本財や素材などの幅広いセクターにおける今年度の業績見通しが下方修正されており、企業業績に関する慎重な見方が広がっています。もっとも、短期的な業績への影響は避けられないものの、中長期的な収益構造に変化を及ぼすものではないと考えています。

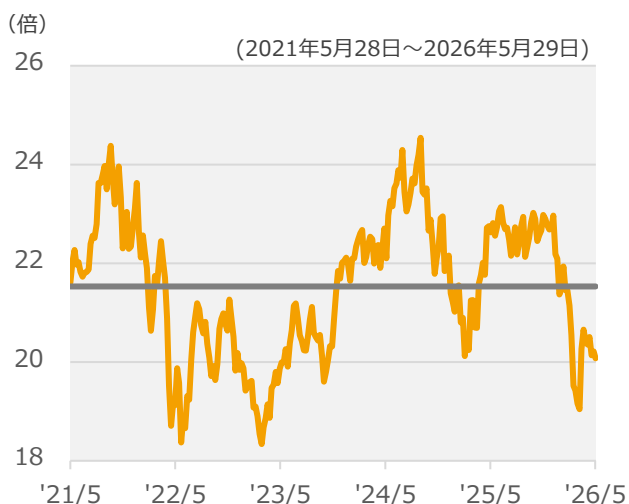
今後については、内需関連セクターがけん引する形で中期的に2桁の高い利益成長を見込んでいます。一方、中東情勢の動向次第で、企業業績見通しには一定の下振れリスクが残る点には留意が必要です。

■ インドの株価バリュエーションは調整が進み、投資妙味が高まる水準

インドの株価バリュエーションについては、12カ月先予想PER（株価収益率）でみると、2026年5月29日時点で、過去5年平均を顕著に下回る水準にあり、足元では落ち着きがみられます。

また、過去5年間の12カ月先予想PERでは、米国株式や日本株式の足元の水準がレンジ上方にあるのに対し、インド株式は過去5年レンジの中で相対的に低い水準にあります。中長期的なインド企業の成長性を踏まえると、インド株式への投資妙味が増しているとみています。

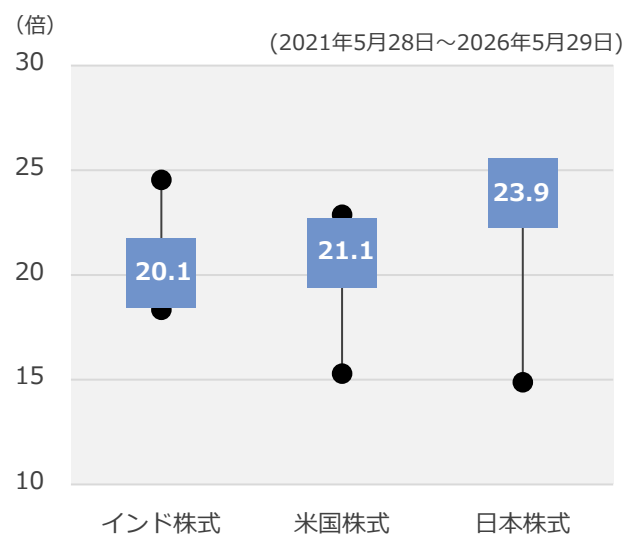
■ インド株式の12カ月先予想PERの推移



※MSCIインド指数、週次ベース
※横線は過去5年平均

(出所) Bloomberg

■ インド、米国、日本株式の12カ月先予想PER 過去5年レンジ



● 過去5年間のレンジ ■ 2026年5月29日時点

※インド株式はMSCIインド指数、米国株式はS&P500種指数、日本株式は日経平均株価。週次ベース

(出所) Bloomberg

今後の見通し

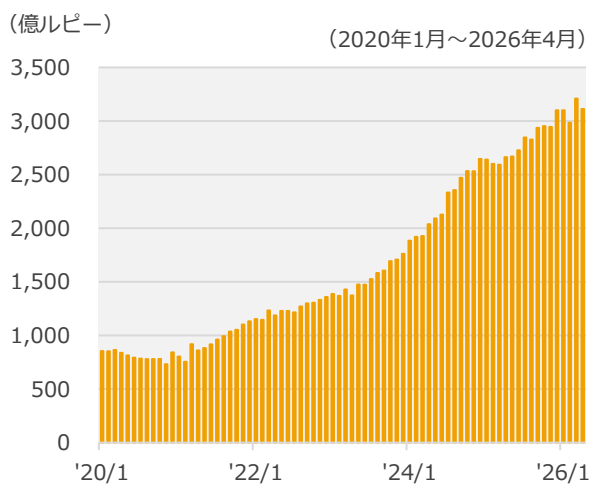
短期的には中東情勢などに左右される展開も、安定した国内資金流入が下支え

インド株式市況は、短期的には、中東情勢や原油などのエネルギー資源価格の動向に左右される展開が続く可能性があります。エネルギー資源価格上昇が企業業績に与える影響については、引き続き注視が必要です。もっとも、これらは一過性の要因でありインドの中長期的な成長期待に変化はないと考えています。状況が落ち着けば、市場の関心は再びインドの高い成長力に向かうと見込んでいます。

また、インド株式市場における投資家別の資金フローを見ると、外国人投資家の資金動向には変動がみられる一方、国内投資家は安定的な資金流入が継続しており、株価を下支えしていることは安心材料です。中長期的には、モディ首相が主導する構造改革の進展や個人消費の拡大によるインド経済の高成長に加え、SIP（インド投信積立制度）の普及が追い風となり、株式市場は堅調に推移することが期待できます。

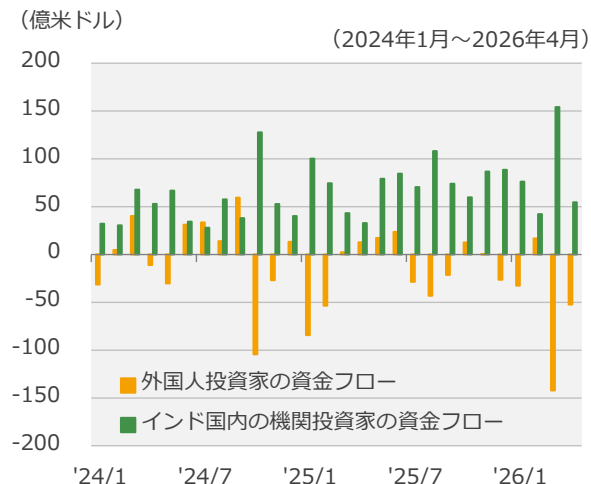
為替については、原油価格上昇に伴う経常収支の悪化を背景に、インド・ルピーには当面下落圧力が続く可能性があります。今後は、エネルギー資源価格の正常化や外貨流出抑制策の効果がみられれば、ルピー相場は安定するとみています。

SIPによる月次の資金流入



(出所) インド投資信託協会より大和アセット作成

インド株式市場での主要投資家の資金フロー



(出所) インド国立証券保管機関

運用方針

当ファンドでは、企業の成長力などに着目し、インド経済の長期的な成長の恩恵を享受することをめざして運用を行います。セクターでは、インフラ投資や設備投資拡大の恩恵が見込まれる資本財・サービスセクターに加え、中高所得者層の増加などを背景に需要の中長期的な拡大が期待される自動車や二輪車関連を中心に一般消費財・サービスセクターに注目しています。また、個人や企業からの旺盛な資金需要を背景に中長期的な成長が見込まれる、銀行を中心とする金融セクターもポジティブにみています。個別銘柄では、優秀な経営陣に率いられ、強固な事業基盤を持つ銘柄を中心に投資していく方針です。

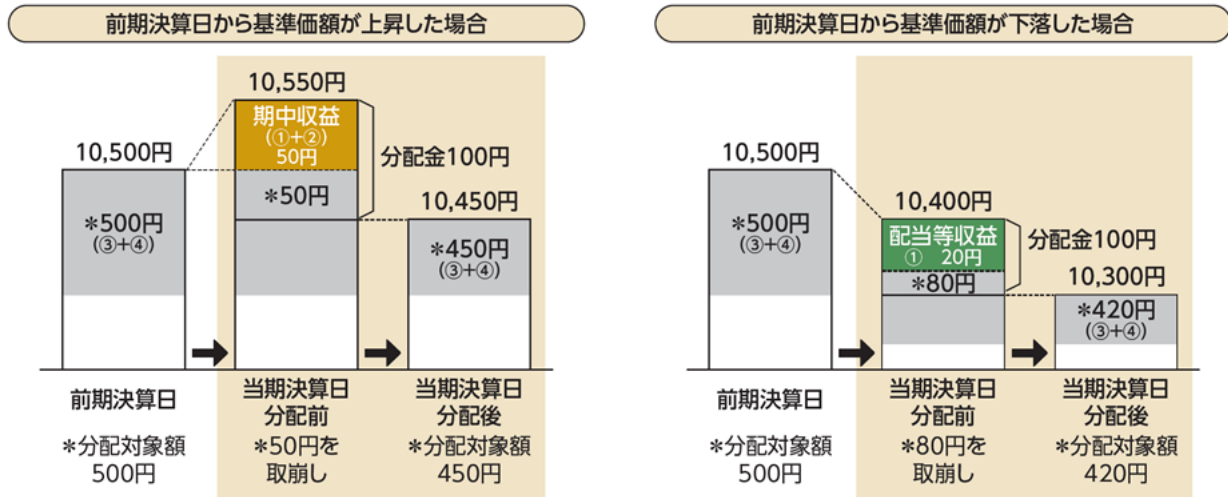
収益分配金に関する留意事項

分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。



分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

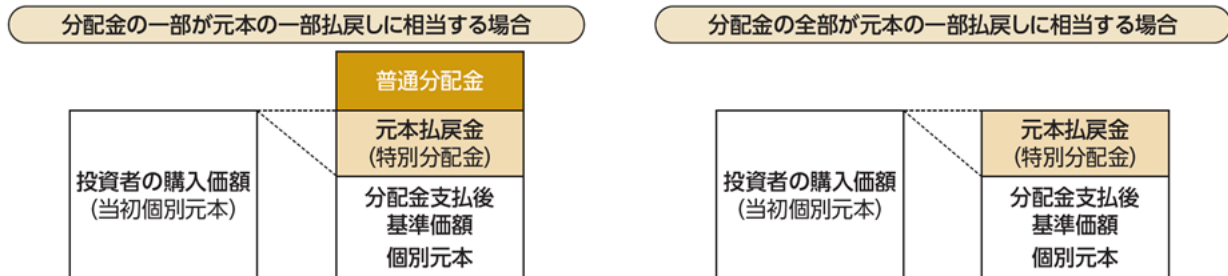
計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合



(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご留意下さい。

投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。



普通分配金..... 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金)..... 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。

また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- ・インドの企業の株式に投資し、信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

- ・インドの企業の株式（注）に投資します。
（注）「株式」…DR（預託証券）を含みます。
- ・毎年 3、6、9、12 月の各 7 日（休業日の場合翌営業日）に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。**基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

株価の変動 （価格変動リスク・信用リスク）	株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動します。発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。組入銘柄の株価が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。 新興国の証券市場は、先進国の証券市場に比べ、一般に市場規模や取引量が小さく、流動性が低いことにより本来想定される投資価値とは乖離した価格水準で取引される場合もあるなど、価格の変動性が大きくなる傾向が考えられます。
為替変動リスク	外貨建資産については、資産自体の価格変動のほか、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。組入外貨建資産について、当該外貨の為替レートが円高方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。特に、新興国の為替レートは短期間に大幅に変動することがあり、先進国と比較して、相対的に高い為替変動リスクがあります。
カントリー・リスク	投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、基準価額が予想外に下落したり、方針に沿った運用が困難となることがあります。 新興国への投資には、先進国と比べて大きなカントリー・リスクが伴います。
その他	解約資金を手当てするため組入証券を売却する際、市場規模や市場動向によっては市場実勢を押下げ、当初期待される価格で売却できないこともあります。この場合、基準価額が下落する要因となります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第 37 条の 6 の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要がある場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受け付けが中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。
- インドの金融商品取引所で取引されている株式は、インドの税制に従って課税されます。インドにおける、非居住者による株式の売却益（キャピタル・ゲイン）に対する税負担等が、基準価額に影響を与える可能性があります。また、外国人機関投資家の保有比率等に制限のある銘柄を投資対象とする場合には、運用上の制約を受ける場合があります。インドの税制・制度等は、変更となる場合があります。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 (上限) <u>3.3% (税抜3.0%)</u>	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	<u>年率1.848%</u> <u>(税抜1.68%)</u>	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎日計上され日々の基準価額に反映されます。
配分 (税抜) (注1)	委託会社	年率0.80%
	販売会社	年率0.80%
	受託会社	年率0.08%
その他の費用・ 手数料	(注2)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注1)「運用管理費用の配分」には、別途消費税率を乗じた額がかかります。

(注2)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせ下さい。

※運用管理費用の信託財産からの支払いは、毎計算期末または信託終了時に行なわれます。

※その他の費用には、インドにおける非居住者による株式の売却益（キャピタル・ゲイン）に対する税が含まれる場合があります。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

お申込みメモ

購入単位	最低単位を 1 円単位または 1 口単位として販売会社が定める単位
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 (1 万口当たり)
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払い下さい。
換金単位	最低単位を 1 口単位として販売会社が定める単位
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額 (1 万口当たり)
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して 6 営業日目からお支払いします。
申込受付中止日	ボンベイ証券取引所 (インド)、ナショナル証券取引所 (インド) のいずれかの休業日 (注) 申込受付中止日は、販売会社または委託会社にお問合わせ下さい。
申込締切時間	原則として、午後 3 時 30 分まで (販売会社所定の事務手続きが完了したもの) なお、販売会社によっては異なる場合がありますので、くわしくは販売会社にお問合わせ下さい。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行なうために大口の換金申込には制限があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情 (投資対象国における非常事態による市場の閉鎖または流動性の極端な減少ならびに資金の受渡しに関する障害等) が発生した場合には、購入、換金の申込みの受け付けを中止すること、すでに受け付けた購入の申込みを取消すことがあります。
繰上償還	次のいずれかの場合には、委託会社は、事前に受益者の意向を確認し、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了させること (繰上償還) ができます。 ・受益権の口数が 30 億口を下ることとなった場合 ・信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるとき ・やむを得ない事情が発生したとき
収益分配	年 4 回、収益分配方針に基づいて収益の分配を行いません。 (注) 当ファンドには、「分配金再投資コース」と「分配金支払いコース」があります。なお、お取扱い可能なコースおよびコース名については異なる場合がありますので、販売会社にお問合わせ下さい。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。配当控除、益金不算入制度の適用はありません。 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に NISA (少額投資非課税制度) の適用対象となります。 当ファンドは、NISA の「成長投資枠 (特定非課税管理勘定)」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。くわしくは、販売会社にお問合わせ下さい。 ※税法が改正された場合等には変更される場合があります。

設定・運用:

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

商号等

大和アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
一般社団法人資産運用業協会

加入協会

一般社団法人第二種金融商品取引業協会

※詳しくは「投資信託説明書 (交付目論見書)」をご覧ください。

Daiwa Asset Management

ファンドに関するお電話でのお問い合わせ

☎0120-106212

(受付時間：営業日 9：00～17：00)

※お客様のお取引状況・その他口座内容に関するご照会はお取引先の銀行、証券会社等の金融機関にお問い合わせください。

URL <https://www.daiwa-am.co.jp/>

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメント株式会社が作成したものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認くださいのうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。記載する投資判断は現時点のものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料中で個別企業名が記載されている場合、あくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。
- 同じ銘柄名が複数表示される場合、同一銘柄名であっても市場や通貨等が異なる場合があります。また、銘柄名称が長い場合、名称の一部が表記されない場合があります。
- 分配金は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

ダイワ・インド株ファンド（愛称：パワフル・インド）

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 資産運用業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
アイオー信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第230号				
会津信用金庫	登録金融機関	東北財務局長(登金)第20号				
朝日信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第143号	○			
足利小山信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第217号				
あぶくま信用金庫	登録金融機関	東北財務局長(登金)第24号				
尼崎信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第39号	○			
アルプス中央信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第251号				
飯田信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第252号				
株式会社イオン銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	○			
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○	
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○	
遠州信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第28号				
大垣西濃信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第29号				
大川信用金庫	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第19号				
大阪信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第45号				
大阪シティ信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第47号	○			
大田原信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第219号				
帯広信用金庫	登録金融機関	北海道財務局長(登金)第15号				
遠賀信用金庫	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第21号				
金沢信用金庫	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第15号	○			
鹿沼相互信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第221号				
蒲郡信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第32号				
川崎信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第190号	○			
北伊勢上野信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第34号				
北おおさか信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第58号				
北群馬信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第233号				
きのくに信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第51号				
吉備信用金庫	登録金融機関	中国財務局長(登金)第22号				
岐阜信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第35号	○			
京都中央信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第53号	○			
京都北都信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第54号				
桐生信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第234号				
呉信用金庫	登録金融機関	中国財務局長(登金)第25号				
桑名三重信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第37号				
興能信用金庫	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第19号				
神戸信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第56号				
埼玉縣信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第202号	○			
さがみ信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第191号				
さわやか信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第173号	○			
しずおか焼津信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第38号				
しののめ信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第232号				
芝信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第158号				
城北信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第147号	○			

上記の販売会社は今後変更となる場合があります。また、販売会社によって、新規のご購入の取扱いを行っていない場合や、お申込み方法・条件等が異なります。くわしくは、販売会社にお問合わせ下さい。

ダイワ・インド株ファンド（愛称：パワフル・インド）

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 資産運用業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
白河信用金庫	登録金融機関	東北財務局長(登金)第36号				
静清信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第43号				
西武信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第162号	○			
関信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第45号				
瀬戸信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第46号	○			
空知信用金庫	登録金融機関	北海道財務局長(登金)第21号				
大地みらい信用金庫	登録金融機関	北海道財務局長(登金)第26号				
高崎信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第237号				
高松信用金庫	登録金融機関	四国財務局長(登金)第20号				
但馬信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第67号				
多摩信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第169号	○			
玉島信用金庫	登録金融機関	中国財務局長(登金)第30号				
知多信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第48号				
千葉信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第208号				
株式会社千葉興業銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第40号	○			
中南信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第195号				
津山信用金庫	登録金融機関	中国財務局長(登金)第32号				
東京東信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第179号	○			
東濃信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第53号	○			
株式会社東北銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第8号	○			
栃木信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第224号				
鳥取信用金庫	登録金融機関	中国財務局長(登金)第35号				
富山信用金庫	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第27号				
豊川信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第54号				
豊田信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第55号	○			
豊橋信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第56号				
長野信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第256号	○			
奈良信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第71号	○			
西尾信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第58号	○			
沼津信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第59号				
のと共栄信用金庫	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第30号				
八幡信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第60号				
浜松磐田信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第61号				
飯能信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第203号				
備前日生信用金庫	登録金融機関	中国財務局長(登金)第40号				
備北信用金庫	登録金融機関	中国財務局長(登金)第43号				
姫路信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第80号	○			
兵庫信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第81号	○			
平塚信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第196号				
広島信用金庫	登録金融機関	中国財務局長(登金)第44号	○			
福井信用金庫	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第32号				
福岡ひびき信用金庫	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第24号	○			
福島信用金庫	登録金融機関	東北財務局長(登金)第50号				
富士信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第64号				
碧海信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第66号	○			
北海道信用金庫	登録金融機関	北海道財務局長(登金)第19号				
三島信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第68号				
水島信用金庫	登録金融機関	中国財務局長(登金)第48号				
水戸信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第227号				

上記の販売会社は今後変更となる場合があります。また、販売会社によって、新規のご購入の取扱いを行っていない場合や、お申込み方法・条件等が異なります。くわしくは、販売会社にお問合わせ下さい。

ダイワ・インド株ファンド（愛称：パワフル・インド）

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 資産運用業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
盛岡信用金庫	登録金融機関	東北財務局長(登金)第54号				
大和信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第88号	○			
米子信用金庫	登録金融機関	中国財務局長(登金)第50号				
米沢信用金庫	登録金融機関	東北財務局長(登金)第56号				
留萌信用金庫	登録金融機関	北海道財務局長(登金)第36号				
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第67号	○	○		
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第15号	○	○	○	
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
おきぎん証券株式会社	金融商品取引業者	沖縄総合事務局長(金商)第1号	○			
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○	○	○	○
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第24号	○			○
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○		○	
松阪証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第19号	○			
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○
三菱UFJ eスマート証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	○
moomoo証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第3335号	○	○		
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

上記の販売会社は今後変更となる場合があります。また、販売会社によって、新規のご購入の取扱いを行っていない場合や、お申込み方法・条件等が異なります。くわしくは、販売会社にお問合わせ下さい。